

豊かさを求めて

[1996-2010]

磯原駅の新しい駅舎が完成し、先行して進められてきた駅西區画整理事業、駅東まちなみ整備事業と合わせて、周辺地域は「市の玄関口」として生まれ変わりました。

茨城県天心記念五浦美術館が開館し、マウントあかね、家族キャンプ村花園オートキャンプ場、中郷温泉通リゃんせなどもオープンして、観光分野の一層の充実が図られます。

文化面ではニュージーランド・ワイロア地区との友好交流が始まり、野口雨情生誕120周年事業などが行われました。

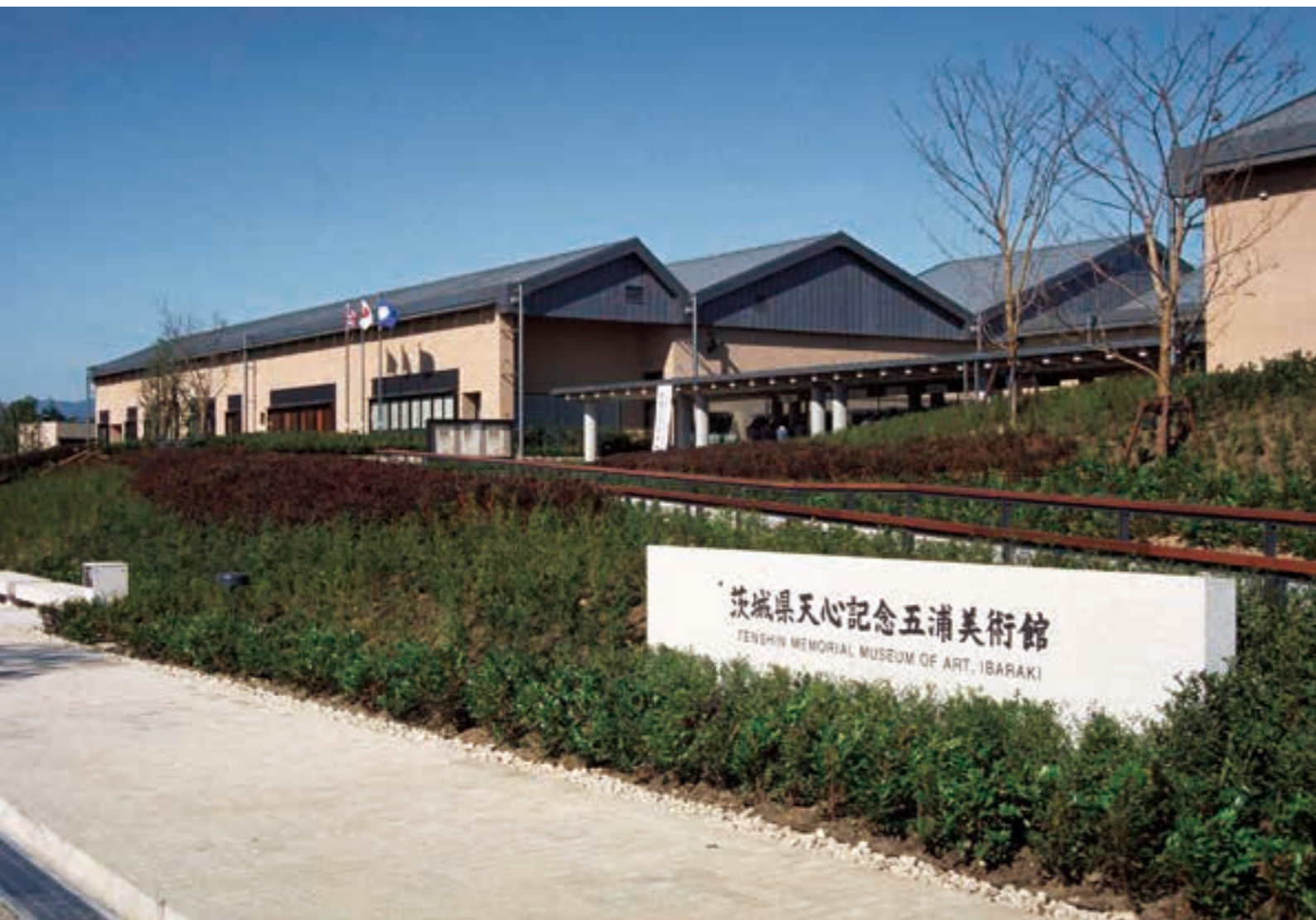
また、市民ニーズの多様化が進み、行政サービスにもこれまで以上の変化が求められるようになり、民間バス路線の撤退に伴う市内巡回バスの運行、ごみの減量化を目指したごみ処理の有料化、市営斎場やすらぎ聖苑の運営、公共下水道の運転などが開始されます。

平成18年には市制50周年を迎え、市民と行政の協力、協働の流れがより一層大きな波に変わっていきます。防犯パトロールやご近所声かけ隊、女性消防団の結成など、住民が主体となって社会に参加する姿が目に見える形となって現れるようになります。市民参加型のイベントも始められ、市民同士の一体感を醸成する機運が高まってきました。

[平成] 8年 → 22年

五浦美術館開館

豊かさを求めて [1996-2010]



茨城県天心記念五浦美術館
TENSHIN MEMORIAL MUSEUM OF ART, IBARAKI



祝 茨城県天心記念五浦美術館開館
開館記念展 天心と五浦の作家たち

五浦の作家たちの業績を顕彰する県天心記念五浦美術館が大津町に開館。橋本昌県知事らがテープカットで祝った (平成9年)



天心記念五浦美術館につながる都市計画道路の五浦海岸線が開通 (平成9年)



常磐線磯原橋上駅と自由通路が完成した (平成9年)



整備が進む磯原駅西口付近 (平成10年)



明德小学校新校舎が完成 (平成16年)



市営の公園墓地として、整備された「泉沢霊園」(平成8年)



市営斎場「やすらぎ聖苑」が磯原町に完成した (平成10年)



完成した下桜井市営住宅1号棟 (平成10年)



平瀨小学校新校舎が完成 (平成8年)



出張所の統合により市民サービスセンターが拡充して業務開始 (平成15年)



北茨城浄化センター(下水道)が供用開始 (平成17年)



大津岬の突端から五浦海岸を望む場所に、「五浦岬公園」を整備（平成10年）



家族キャンプ村花園オートキャンプ場がオープン（平成9年）



華川町にオープンした公共の宿「マウントあかね」（平成12年）



中郷町に完成した「中郷温泉通りゃんせ」（平成11年）



子育て支援施設「大津子どもの家」がオープン（平成16年）



栄蔵室に整備された市民の手づくり展望台（平成17年）



市内の小学校13校に計61台のパソコンを導入。キーボードを操作する富士ヶ丘小学校の児童たち (平成9年)



戸籍の電算化がスタート (平成17年)



市民の足となる市内巡回バスが本格運行 (平成15年)



子どもエコクラブのペットボトル回収PR (平成10年)



消防本部に緊急通信指令施設が完成 (平成13年)



市制施行40周年を祝う式典が開かれた (平成8年)



社会問題となったO157の予防研修が行われた (平成10年)

石井竜也さん 市へ愛唱歌贈る

木木クラブのカールスモーキー石井（石井竜也）さんから、市民が希望と誇りを持って「だれでも」「どこでも」「気軽に」愛唱でき、また、北茨城を離れていても「ふるさと北茨城」を思いだし口ずさめるようにと、市制施行40周年を記念して、北茨城市へ愛唱歌として『やさしい町』が贈られました。



やさしい町

作詞作曲 石井竜也
編曲 金子隆博

のほろほろの空を飛んでゆけ

1 ああ 風の青さよ
多賀の山脈（やまなみ）よ
ああ いつの日までも
このままでありたい
日射しの笑顔たち
心が癒われるこの町
ああ 時代（とき）の流れも
立ち止まる時に

2 ああ 道の命が
届けを渡り
ああ 緑がゆるる
穏やかなせせらぎ
やさしい声のする
全てを忘れられる風景
ああ ずっと変わらず
いてほしいふるさと

日射しの笑顔たち
心が癒われるこの町
ああ 時代（とき）の流れも
立ち止まる時に

本市出身の石井竜也さんから市に愛唱歌「やさしい町」が贈られた（平成8年）



常陸宮、同妃殿下がご来市。歴史民俗資料館をご訪問された（平成16年）



長野県中野市との姉妹都市締結20周年にちなんだ演奏会（平成12年）



ニュージーランド国ワイロア地区と国際親善友好都市提携（平成11年）



北茨城生涯学習フェスティバルが開かれた（平成12年）



北茨城市消防団に女性分団結成 (平成20年)



第1回「北茨城市民夏まつり」が開催された (平成20年)



市漁業歴史資料館「よう・そろー」が開南町にオープン (平成19年)



茨城の豊かな海づくり大会が大津漁港を会場に開催された (平成19年)



長野県中野市との交流30周年で行われたスポーツ少年団交流 (平成22年)



石岡第一発電所が国指定重要文化財に登録される (平成20年)



市道豊田・下駒木線が開通 (平成21年)



市民ふれあいセンター大ホールがリニューアルされ、記念講演会が開かれた (平成21年)



花園・水沼地区で携帯電話サービス開始 (平成19年)



中郷ふるさとコミュニティセンターが完成 (平成20年)



北茨城高と磯原高が統合し、磯原郷英高校が開校 (平成20年)



最後の卒業生を送り出し、北茨城高校が44年の歴史に幕を閉じた (平成22年)



中郷子どもの家がオープンし、子育て世代の交流の場に（平成22年）



第1回「石岡さくら祭り」が開かれ、市民が満開の桜を満喫（平成22年）



市役所本庁舎で日曜開庁スタート（平成19年）



小中学生を迎え子ども議会が開かれた（平成22年）

平成8年	3月	泉沢霊園が完成
	10月	市制施行40周年記念式典挙行
	11月	北茨城市女性連盟設立
平成9年	1月	石炭火力発電所の立地計画書が東京電力から提出される
	10月	JR常磐線磯原橋上駅・自由通路竣工
	11月	都市計画道路五浦海岸線開通 茨城県天心記念五浦美術館開館
平成10年	4月	五浦岬公園完成
	5月	常磐三市災害相互応援協定締結（いわき市、高萩市）
	7月	市営斎場「やすらぎ聖苑」完成
平成11年	4月	都市計画道路、神岡・五浦線開通
	5月	中郷温泉「通りゃんせ」オープン ニュージーランド国ワイロア地区と国際親善友好都市提携
	6月	市長選挙執行、村田省吾氏再選
平成12年	5月	「マウントあかね」オープン
平成13年	4月	防災コミュニティセンター完成
平成14年	3月	雨情誕生120年記念事業スタート（国際童謡フェスティバル） 平潟漁港の不発弾処理で193世帯が避難
	4月	花園地域交流センター「花園もーる」オープン
	7月	市内巡回バスの運行スタート
	8月	茨城高校総体開催（ロードレース）
平成15年	1月	JR3駅に市民サービスセンターを開設
	4月	ごみ処理有料化スタート
	6月	市長選挙執行、村田省吾氏再選
平成16年	3月	農山漁村交流促進特区認定 農家民宿やどぶろく製造の要件が緩和
	10月	常陸宮同妃両殿下ご来市
平成17年	6月	市道里親制度スタート、3団体が協定書に調印
	7月	小山ダム竣工式
	8月	地震・津波に備え、市内24カ所に半鐘を設置
	10月	公共下水道供用開始、浄化センターで通水式
平成18年	10月	市制施行50周年記念式典挙行
平成19年	5月	市漁業歴史資料館「よう・そろー」オープン
	6月	市長選挙執行、豊田稔氏就任
平成20年	4月	県立磯原郷英高等学校が開校
	8月	第1回市民夏まつりを磯原駅周辺で開催
	10月	消防団女性分団が誕生
	12月	石岡第一発電所が国指定重要文化財に登録
平成21年	3月	市道豊田・下駒木線開通
	10月	市役所本庁の日曜開庁開始
平成22年	3月	県立北茨城高等学校が閉校。44年の歴史に幕
	4月	第1回石岡さくら祭り開催